

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年12月1日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回数 6日目

### 令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	篠栗町役場	代表者名	篠栗町長 三浦 正
担当者部署	財産活用課	連絡先電話番号	092-947-1171
担当者役職	主事	担当者氏名	田中 拓来
		連絡先E-mail	
住所	811-2492 福岡県篠栗町中央1丁目1番1号		

##### 1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

#### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川口 弘行
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	「DX推進委員会」にて協議している内容について、事務局として提案する内容についてご意見をいただいた。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

#### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (応募依頼より)	支援内容 (応募依頼より)	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年11月28日	支援・助言	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)
			14時00分	15時00分	0
				活動時間 (分)	60

#### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="checkbox"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</a>
------	------------------------------	---

#### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	職員	1 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	篠栗町ではDX化に関する計画が未策定となっている。当課としても町全体のDX化の推進を行いたいものの、全庁的な指針もないため、現時点では、各課からの要望に基づき、徐々にシステム化をしている段階となっている。そのため、部分最適の対応となっており、全体最適によるDX化には課題がある状況。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	篠栗町の住民および職員みんなが、デジタルの恩恵を受けられるようなDX推進計画の策定。→5年後にどうなっていたかをテーマに、職員みんなでDXについて考える。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	職員から選出した委員による「DX推進委員会 (第1回)」の開催の結果、今後の方針について事務局としてどのように進めて行ったらいいかご教授いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	「DX推進委員会」において「他市町のDX推進計画の好事例」について紹介する予定となっている。事務局が提案予定の事例をアドバイザー派遣にて確認していただき、事務局としてDX推進委員に伝えるべき内容をご教授いただいた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他

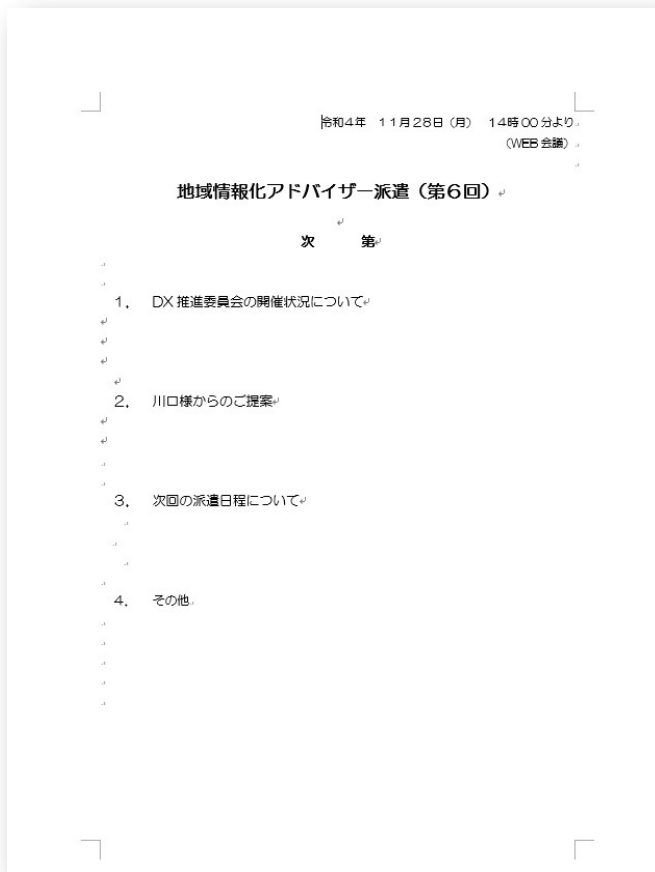
	次回の「DX推進委員会」で事務局としてどのような計画を提案すべきかを確認することができた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	篠栗町の住民および職員みんなが、デジタルの恩恵を受けられるようなDX推進計画の策定。	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。  
なお、<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

#### 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



当日の写真は誤ってデータ削除してしまいました。

代わりに当日の資料データを添付します。

#### 4 さぬき市が目指す姿(3)

次に「いつまでも住みよい・住み続けたいまち」というミッションの実現に向けて、次のとおり本市が目指すまちの将来像を設定しました。

##### 活気あふれるまち

- ・さまざまなイベントが開催されていて多くの人が様々な方面で活躍している
- ・多種多様なお店が身近にあって買い物も食事も楽しめる
- ・子どもから大人までが集うことができ一緒に遊べる場が充実している
- ・みんなに誇れる観光地や名所旧跡があって内外から人が集まり活気にあふれている

##### 穏やかに暮らせるまち

- ・地域や人とのつながり・結びつきがあって困った時には助け合える寛容さがある
- ・自然豊かで食べ物がいしくキレイで穏やかな心持ち
- ・生活コストが少ない



・高齢者が地域とつながりながらいつまでも元気でゆったりと暮らせる

### 安心して暮らせるまち

- ・希望するときに安全に目的地まで移動できる
- ・必要なときに身近な場所で適切な医療を受けられる
- ・安定して働ける場所がある
- ・身近なところで希望する教育が受けられて子育てしやすい
- ・治安がよく災害にも強く安心して暮らせる

### 便利なまち

- ・ブロードバンド環境に接続できてデジタルツールを使ってデジタルの利便性を享受できる
- ・市民との風通しがよく便利で安定した行政サービスがある



▲若手職員DXワークショップ  
(令和4年1月)

このビジョン（将来像）は、本市の次代を担う若手職員の意見をもとに設定しました。